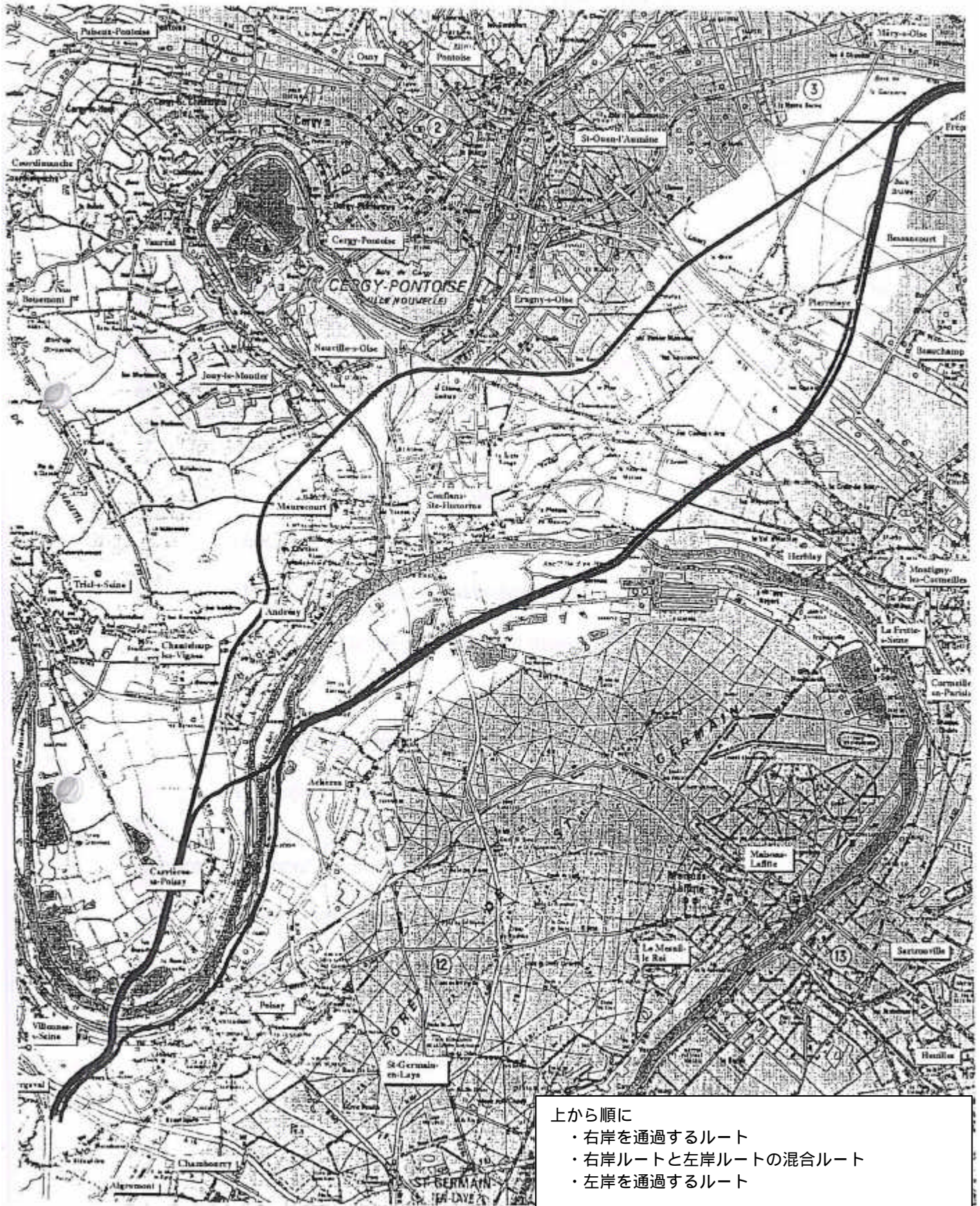


B．フランスの概略計画の段階におけるPI事例の概要

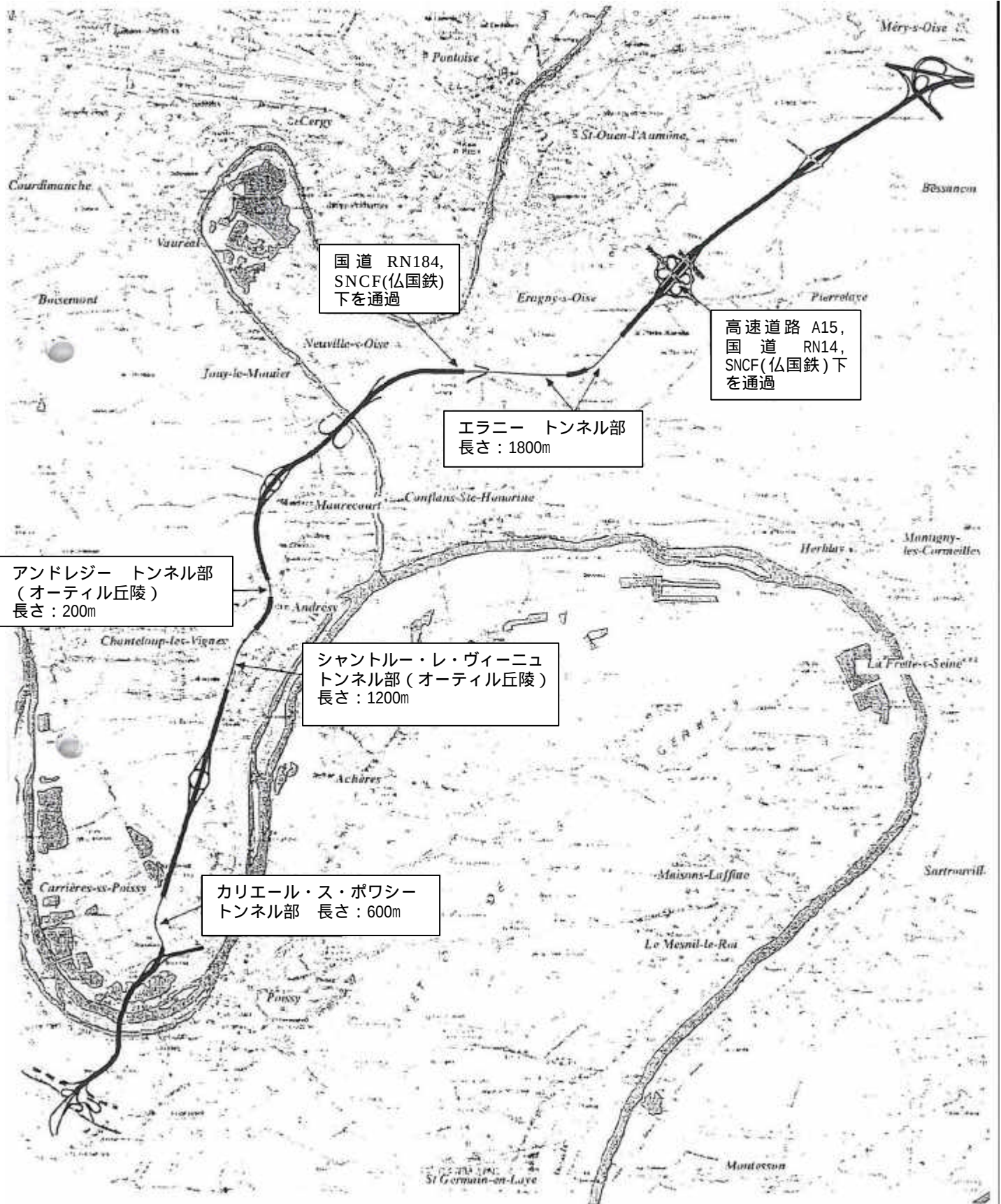
No.	事例資料名	対象計画	概要	形態	主な内容
B-1	ルート案を示す記者発表資料の一部	<フランシリエンヌ線> パリ中心地から約25kmに位置する全長約120kmの環状線の北西部区間の新設計画。	複数ルート案の策定を検討する目的で公開討議第2段階を開催する旨の図面付文書をプレスおよび関係市町村に告知。 第1段階では、ルートを検討する地域(南東地域と北西地域)を対象に議論。結果、南東地域に決定。	A4図面	3ルート案(右岸ルート、左岸ルート、混合ルート)
B-2	討論調査委員会*から知事へ提出された討議等の総括文書		討論調査委員会から討論の結果を総括した文書を知事に提出。	A4, 8ページ(文章のみ)	調査委員会の任務 任務遂行の経緯 情報の質及び合意形成の評価

*：討論調査委員会は大学教授3名より構成(内1名は計画策定期間中に死去)。

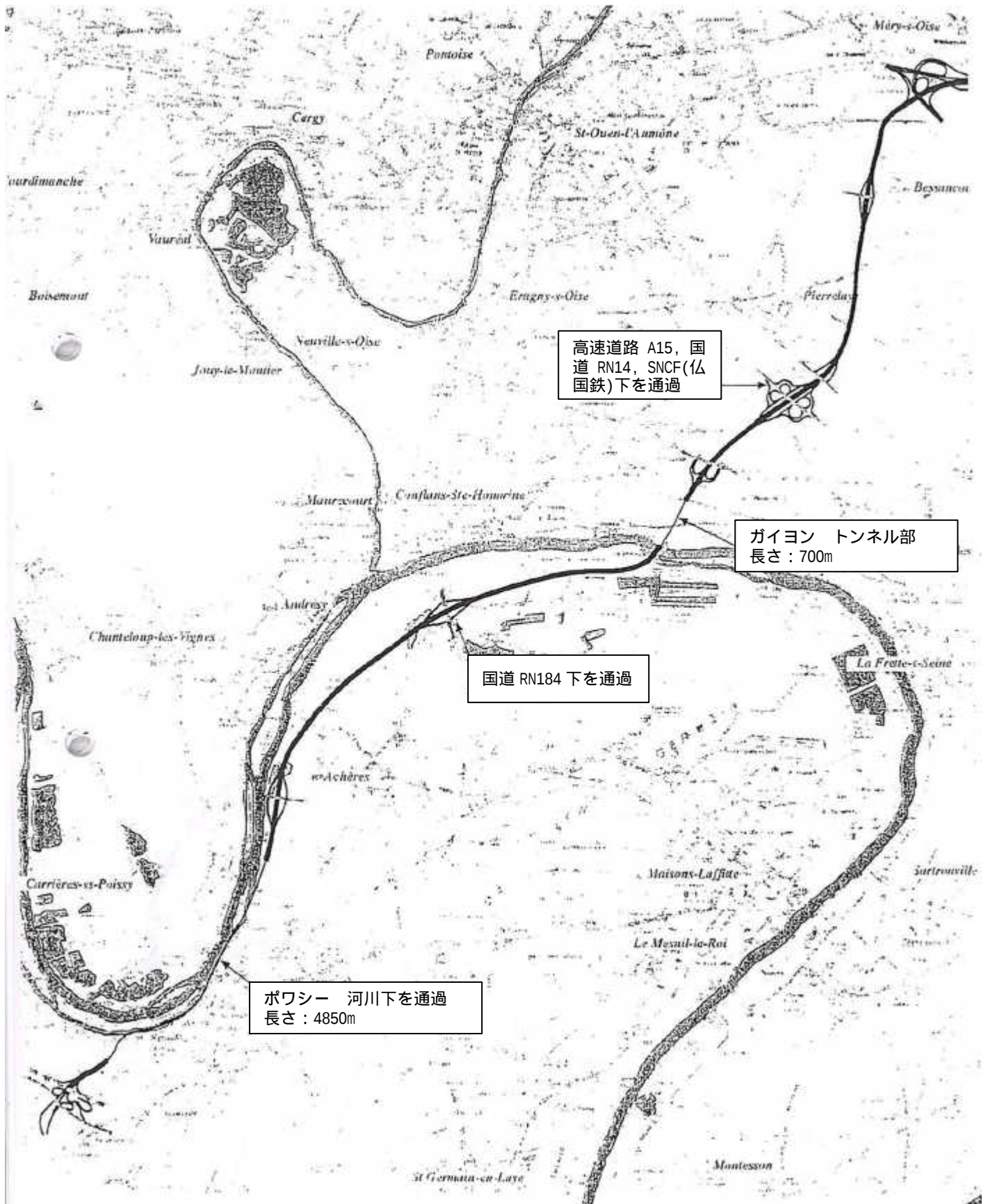
検討された3ルート案



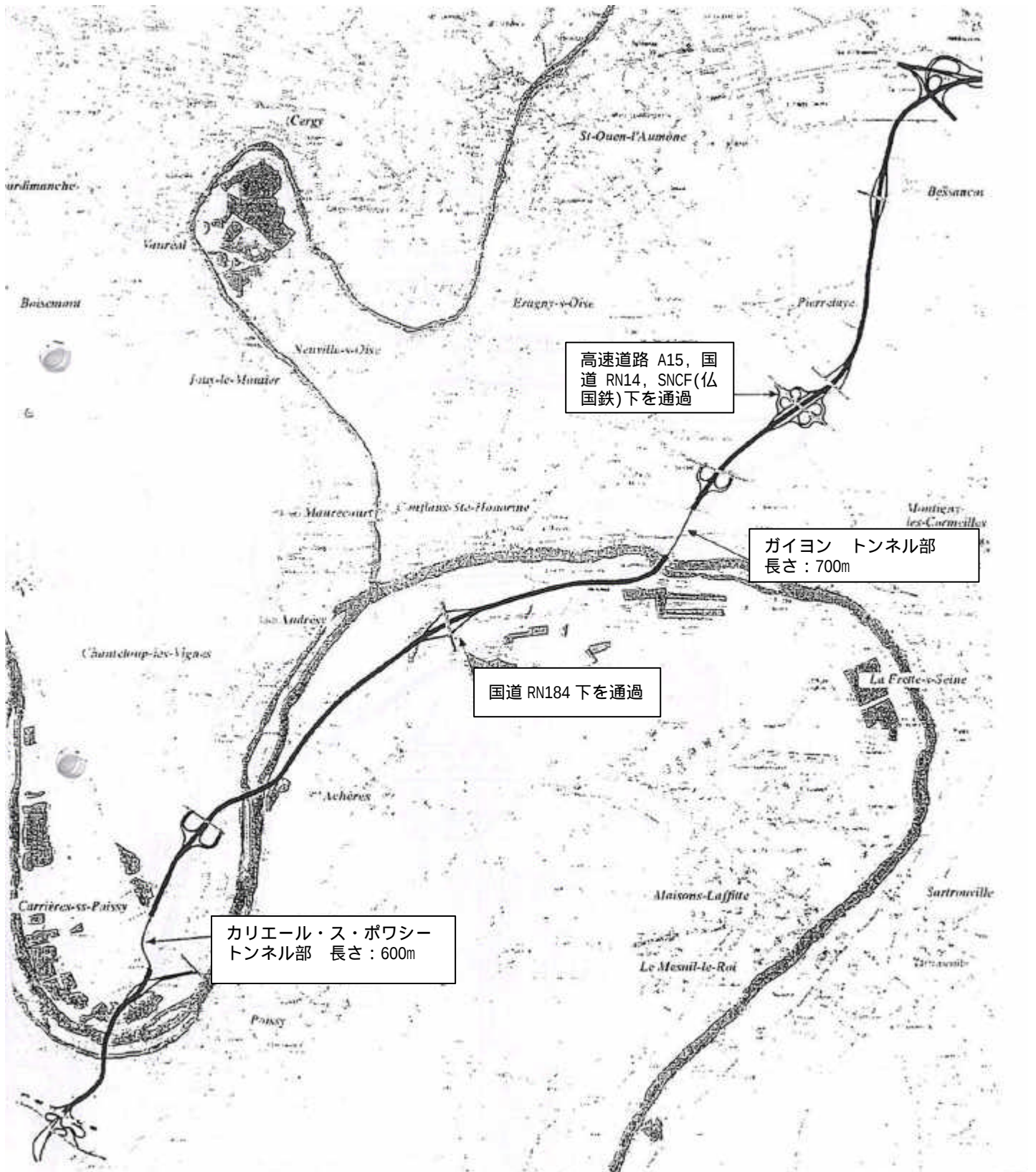
A184 右岸を通過するルート案



A184 左岸を通過するルート案



A184 右岸ルートと左岸ルートの混合ルート案



討論調査委員会から知事へ提出された討議等の総括文書（概要）

発行者 →宛先	調査委員会 ¹⁾ → イブリヌ県知事（調整知事 ²⁾ ）
目的	調査委員会報告
発行日	1995. 2. 7
記述内容	<u>[調査委員会の目的]</u> 提供される情報の評価（分析） 議論の評価（会議への出席など） 疑問点の解明（専門家による鑑定の要請、任命） <u>[調査委員会の活動の概要報告]</u> 情報（1994.6 に配布された基本資料²⁾）の評価 ・ 情報が充実、詳細で検討し尽くされている ・ しかし記述内容が難解であり一般の人とのコミュニケーションを考えていない ・ 初期段階にも関わらずルート問題に直接言及している点が不適切 DREIF（イルドフランス地方整備局）に対する補足的情報提供の要求 議論の評価 ・ DREIF、地元自治体議員、団体の評価 ・ 議論で出た主な意見 ・ それに対する回答 専門家による鑑定³⁾結果 <u>[調査委員会の結論]</u> 合意形成⁴⁾段階であらゆる意見が表明された （行政側から提出された）基本資料に提示されている内容は有効である

注釈

1) 調査委員会：

合意形成の透明性の確保のため、調整知事により任命された第3者委員会。大学教授3名により構成され、1994年4月に発足。なお、調査委員会はピアンコ通達により次のように規定されている。

「討論の透明性を守るために、公益宣言に先立つ調査の開始時まで(構想段階)調整知事の下に調査委員会を設置するものとする。同委員会は、公衆に知らされる情報の質が高く適切であるよう、また開かれた多角的な討論が行われるよう監視するものとする。この調査委員会は、調査と合意形成の手続きについて示唆を行うことも出来る。同委員会は討論の中での質問に対してしかるべき時期に回答が出るよう促すことが出来るものとする。また外部の査定機関を雇うことを提案することができ、その場合の資金は事業者が負担するものとする。」

2) 基本資料：

イルドフランス地方整備局が作成し、経済的、社会的および環境の問題点並びに国土整備上の影響を明らかにしようとしたもの。

内容は

- ・イルドフランス地方における交通の問題点
- ・フランシリエンヌ線環状線化の問題の性質
- ・調査区域の説明
- ・3つの選択肢の評価

フランシリエンヌ線を直接環状線化せず、他のバイパス道路を整備する案

と同様、かつ公共交通機関を改善する案

フランシリエンヌ線による環状化案

なお、この資料に対する補足資料が合意形成の過程で要求され、イルドフランス地方整備局が提出している。

3) 専門家による鑑定：

調査委員会が任命した SETEC International のゴダン氏が基本資料を鑑定した。

4) 合意形成：

翻訳上、concertation を合意形成と訳した。

Concertation：協議、協調、(住民参加の)合議

「PETIT ROYAL 仏和辞典より」